

関東ふれあいの道(栃木)⑬麦笛のみち

2024年6月5日池内淑皓

2024年(令6)3月23日(土)曇りから晴れ、昼過ぎに「⑫蔵とヤナギのみち」を歩き終えて、東武宇都宮線の新栃木駅にゴールした。

時間があるので、引き続き「⑬麦笛のみち」を歩く、距離も7kmほどであるから夕方にはゴール出来るだろう



「⑬麦笛のみち」案内板(東武宇都宮線新栃木駅構内にある)



⑬麦笛のみち地図(新栃木駅→今泉神社→大宮神社→野州大塚駅ゴール) 6.7km 1時間30分



町中の路地を珍しい擬似木に従って歩いて行く



町を離れたら、畑に出て畑の中に今泉神社があった。村の鎮守の森という感じ



今度は金属の案内板に導かれて歩いて行く



ここは腕木式の道標であるが、道が舗装されて、セメントの中に埋め込まれてある



やっと麦畑に出た、今は3月の下旬。麦踏みが終わったばかり、育つのは6月であるから、麦笛には遠い



菜の花と麦の芽のコラボも良いか



栃木の大麦は、県が奨励して育てさせている。全国で 22% の生産量を誇る。



「大宮神社」室町時代の寛正年間の開基。この辺りは小山氏の古城跡と伝える



ご神体なのであろうか、簡単な鞘堂に収まっている



集落の外れに、雨除けの屋根に収まって、石仏類が集められていた



日支事変の時(昭和 13 年)軍馬を挑発した時の記念碑



十九夜の碑が綺麗な形で残されている(昭和 5 年)



またしばらく、麦畑の中を歩く



珍しく指導票と、石柱と石板が並べて置いてある



次の集落への続きには、簡単な雑木林が防火帯として区画されていた



また麦畑の中を行く



町が近くなってきたら、次のコース「⑭風土記のみち」分岐の案内板が出て来た



東武宇都宮線 野州大塚駅に到着。2 時間 20 分、13, 000 歩であった



私鉄の駅案内板は素敵なデザインが多い

[参考タイム] 新栃木駅(13:20)→今泉神社(14:00-14:10)→大宮神社(14:30-14:35)→東武
宇都宮線野州大宮駅(15:38 ゴール)

この項完

「関東ふれあいの道(栃木)⑭風土記の道」に続く